

# 報告書抄録

ふりがな	しわじょうあと							
書名	志波城跡							
副書名	平成 23・24・25 年度発掘調査報告書							
編著者名	津嶋知弘・今野公顕							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2016 年 2 月 12 日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号			(㎡)		
しわじょうあと 志波城跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しものおた 下太田 ほうはっちやう・しんせきばた 方八丁・新堰端ほか	03201		39°	141°	第 105 次 2011.04.12~04.26 2011.11.30~12.05	880	現状変更 (高圧線鉄塔移設)
				41′	06′	第 106 次 2011.11.15~11.22	78	内容確認 (Ⅲ期整備)
				02″	47″	第 107 次 2012.10.24~12.11	743	内容確認 (Ⅲ期整備)
				世界測地系	世界測地系	第 108 次 2013.10.15~11.18	145	内容確認 (Ⅲ期整備)
				39°	141°	第 109 次 2014.01.04	7	現状変更 (毀損復旧)
				41′	06′	第 110 次 2014.03.11	120	現状変更 (住宅建築)
			12″	34″				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
志波城跡 第 105 次調査	城柵官衙	平安時代	堅穴建物跡 7 棟、土坑 4 基 溝跡 2 条、柱穴		土師器、須恵器		遺構保存措置	
第 106 次調査		平安時代	外郭東辺築地外溝跡		土師器			
第 107 次調査		平安時代	外郭西辺築地線・築地外溝跡 外郭西辺外大溝跡		須恵器、土師器			
第 108 次調査		幕末～明治 大正～昭和初期	表土 表土		瀬戸美濃系染付なます皿（型紙摺） ビール瓶（サクラビール）			
第 109 次調査		平安時代	外郭西辺築地線・築地外溝跡 外郭西辺外大溝跡		須恵器、土師器			
第 110 次調査		平安時代	外郭南辺外大溝跡		なし			毀損状況確認
			なし		なし			
要約	志波城跡は、平安時代初頭の延暦 22 年 (803) に朝廷が造営した、古代陸奥国最北端・最大級の城柵である。平成 23～25 年度の主な調査成果としては、郭内北部・北東部で実施した第 105 次調査では、平安時代・志波城期の堅穴建物跡（兵舎）を 7 棟検出し、郭内北東部では外郭沿いの兵舎域が大きく城内側に広がっていることが確認された。外郭東辺南部で実施した第 106 次調査では、築地外溝跡を検出し、断面形状等その横相がこれまで外郭東辺で実施した過年度の調査成果と共通することを確認した。第 107・108 次調査では、外郭西辺築地線（基壇等）・築地外溝跡・外大溝跡を検出し、外郭西辺の区画施設の規模・横相等がより明確となった。							